

ごあいさつ



八女西部広域事務組合
組合長 **中村 征一**

自然と緑に溢れた飛形山を拝む八女市立花町の地に建設された本施設は、次世代型ガス化溶解施設である八女西部クリーンセンターから排出される脱塩残さ固化物を埋立処分する施設として3年の歳月をかけて建設されました。

この新しい施設の基本構造としては、雨水以外、自然水系への放流を一切行わないクローズドシステムを採用し、埋立地については、屋根を有したコンクリート構造物の内側に3層構造の遮水工と漏水検知設備を装備しています。

これらは、水と緑に恵まれた周辺環境への負荷軽減を最大限に考慮した、最高度の安全と信頼を確保するための設備です。

今後は、本組合を構成する4市2町の住民の皆様の生活環境と、矢部川をはじめとした地域資源との調和を最優先に、施設の安全管理に努めて参ります。

おわりに、本施設の建設にあたり、多大なるご協力を賜りました地元の皆様をはじめ、関係各位に対しまして心から感謝を申し上げますとともに、今後とも八女西部広域事務組合の業務に対し、一層のご支援とご協力をいただきますようよろしくお願い致します。

平成22年12月

【施設概要】

施設名称	八女西部広域事務組合立花最終処分場（通称 たちばなエコリン）	
所在地	福岡県八女市立花町兼松 1789 番地 1	
施工主	八女西部広域事務組合 八女市（旧八女市、旧立花町）、筑後市、広川町、 久留米市（旧三潞町、旧城島町）、大川市、大木町	
埋立地主要諸元	埋立面積：3,260.0 m ² 埋立容量：25,000 m ³ 埋立物：脱塩残渣固化物 埋立期間：平成23年1月～平成37年12月	
主な施設概要	全体敷地面積	51,965.45 m ²
	被覆施設全体	建築面積：3,728.82 m ² 1階床面積：3,653.69 m ²
	埋立地施設構造	（上部）鉄骨造 （下部）鉄筋コンクリート造（直壁）
	埋立地	床面積：3,471.92 m ² （散水設備：噴霧ノズルにより22分割による噴霧）
	浸出水調整槽	貯留量 26 m ³
管理棟	床面積：181.77 m ²	
総事業費	¥1,210,020,000（施工監理を含み用地費は除く）	